

アルジェリア民主人民共和国
大統領官邸

アルジェリア民主人民共和国大統領
アブデルアズィズ・ブテフリカ

講演

「アルジェリアにおける民主化及び改革政策」

国連大学

2004年12月7日

ご臨席の皆様、

数々の貢献を成し遂げた国連大学において本日皆様とお会いできることを大変光榮に存じます。その昔、今は亡きウ・タント元国連事務総長の時代に、私が議長を務めさせていただいた1974年の第29回国連総会で最初の草案が採択されたことが今でもよき思い出として残っています。

国連大学が国連の目的及び方針をより広く普及させるべく研究や研究者の養成のために重要な役割を果たしているのはアルジェリアでもよく知られた事実です。

本日はご招待に与り、アルジェリアにおける民主化及び改革について論じてみたいと思います。

この場において経済及び政治において成し遂げた改革の数々を事細かに述べ挙げるよりも、それぞれの変革の多角的、段階的、そして不可逆的な側面を強調しながら、ここ数年の間にアルジェリアがどのような変化を遂げたかについて大まかにご説明したいと思います。

我々の目的は、公平、経済効率、社会的統合、そして民主的要求に応えた近代的かつ豊かな社会をつくることです。

このような観点から、現代アルジェリアの基盤を成す1954年11月1日の宣言が明確に主張している国家独立のための戦いの解釈、民主原理、人権、法律国家、政治的制度的組織化などの精神に忠実に従いながら改新を進めております。

歴史上の挑戦を理解していただくためにも、132年間におよぶアルジェリアの植民地化によって国家機関が姿を消してしまったことを想起しなければなりません。アルジェリアが生き残り、抵抗し、解放されるまで、幾世代もの犠牲を払わざるを得なかったのは言うまでもありません。

独立時の状況といたしましては、人材の悲劇的な損失とあらゆる分野における多大なる供給困難の連続でした。国を再建するために必要な体制及び人材が欠如する中で変革を成し遂げるのは容易なことではありませんでした。

生活のあらゆる分野に介入する国家主義ともいえる社会主義を採択したのも動力と手段を分散させ無駄にしないためでした。かくして国を再建して体制を確立させ、経済の工業化を軌道に乗せたものの、ヨーロッパや世界が経験した社会主義の崩壊は免れませんでした。

政治的、経済的、社会的、文化的発展を成し遂げるまで、の30年間に亘るこのような状況の中で、矛盾や暗中模索など波乱万丈の連続でした。

アルジェリア国民の団結とアルジェリア国家の基盤はまた、困難な経済状況と未だテロリズムの危険に目覚めていない国際社会を背景に、簡単に根付いた10年間の度重なる卑劣なテロ行為の試練に揺さぶられました。

1999年を境にこの状況を打破しようと、身動きの取れなくなった社会の矛盾を乗り越えることを可能にする経済的政治的変革に必要な安定条件を揃える試みが始まりました。そのためには、状況を打破できるような制度及び経済改革を導入することで国家の改新に必要な政策を再開させなければなりませんでした。

国民和合政策は1999年に行われた国民投票で大多数の賛成票をもって導入されました。これはアルジェリア国民がいかに平和を希望しているか、そして新しくより現代的な基盤に基づくアルジェリア国家の再建を可能にする新しい時代の到来を示しています。

我々の目標は、アルジェリア人がそれぞれの人生に目標を見出せることです。テロリズム、そしてあらゆる不平等や排除との闘いを続けることによって、若者たちが再び希望をもち、安心して将来を築き上げることを切に願っています。

アルジェリア社会の変革はこれらの目標の実現に適した国民全員の団結に基づいた環境を必要とし、国民協議によって決定した大赦が完成の印となることでしょう。

ご臨席の皆様、

現代アルジェリアを実現させるためのもっとも確実な道は、改新された制度の下で市民の同意を呼ぶ良心的な統治と参加形式の民主主義です。これは、アルジェリア国民の民主主義的な意志に応えるための制度的、政治的、経済的、社会的、そして文化的な発展なしでは実現できない現代社会の要求です。

我々は正にこれらの目標に達するために大々的な改革に着手しました。とりわけ国家の改革、教育制度の改革、経済及び社会改革は確立された民主主義的なプロセスの中で行われつつあります。国家改新計画の中核を成すこれらの改革はまだ着手したばかりの段階にあり、長期戦となることでしょう。そのために早まったその場しのぎの決定を完全に排除した熟慮に基づく責任のある行動をとるよう心がけています。

これらの改革の内容及びこれらの改革が引き起こす正当な期待はあまりにも規模が大きく、その段階的な実現の根底には、誰が見ても強靱で永続性のある政治的意志

が必要です。従って、段階的ではあっても、実効性及び透明性を兼ね備え、当初の総括的な構想に適った改革でなければなりません。

国家の改革は、他の全ての着手を条件付けることから現代国家を再建するものです。社会の全ての部門が係ってしまう規模の改革です。斬新な公共事業を促進し、国家と市民の信用関係を取り戻した時点で初めて完成したと言えるでしょう。

我々が構想した国家改革は単なる行政改革ではありません。それ以上のものです。国家の新しい概念、任務、社会的役割に伴い、市民と新たな関係を結ぶような変革のプロセスであり、分権の原理に基づいて民主主義に貢献する行政権の地方委譲を目指すものです。従って国の経済的、社会的、政治的、そして制度的実情を明確に見据え、社会の実際の期待と公共倫理や良心的な統治への要求をよく把握した改革でなければなりません。制度に基づいて活動する法律国家を導入することがこの改革の到達点です。責任を持って任務を果たし、実効性のある現代的な民主主義国家になって初めて市民の尊敬、賛同、信用を取り戻すことができるでしょう。

国家改革と共に法律国家の基盤を成す司法改革は、我々の価値観、原理、理想に適う司法モデルを推考することで、公益と個人の権利及び自由を保護すると同時に市民の信用を取り戻すことを可能にします。少しずつ導入している新しい国家秩序の大黒柱である司法改革は、確固たる意志をもって、尚かつこの課題に必要な分別と冷静さをもって進められています。

司法改革は、現行の司法制度が時代に適合し、独立した形で実効性をもって国民に近い体制を強化することを目指しています。社会の均衡と安定の要であるこの改革は人権の尊重、複数政党制民主主義、そして表現の自由を保障してきましょう。このような観点から現行の法律の見直しが進められています。また、国際基準を満たしながら、司法概念の一般原理の推移と調和のとれた形で、この分野に見込まれた制度的保障に応える法案でもあります。

司法改革は当初より国家改革の構想に含まれていました。法律国家が具体的に国の実情に見合ったものにするためには、過去のアルジェリアの司法制度を受け入れながら、アルジェリア社会や制度の変化に即応し、尚かつ国際的環境に適ったものでなければなりません。

論点先取りの虚偽に終わっては法律国家も成り立ちません。法律国家とは絶えざる効力で国家と市民を結ぶものです。その関係において、司法は重要な役割を担っています。全面的に自らの責任を果たす国家と、憲法によって認められ司法によって保障された権利と自由を満喫したいと願う市民との信用関係を日常的に築き上げるのは司法です。司法が機能することで民主化は一層深まり、法律の施行条件は我々の社会の変化と外から見たアルジェリアのイメージに大きく反映されます。

我々の改革のもうひとつの大きな課題は教育改革です。独立以来、アルジェリアでは教育と養成が自由、解放そして発展の要因であると見なされ、国の優先課題として取り上げるべきものとして考えられてきました。従って恒常的に教育と養成を中心に据え、これまでに多くの予算と努力をつぎ込んできました。数十年に渡って施行された義務教育政策は新しい状況を生み出しました。

今日では、これまでに取り組んだ政策の成果と努力すべき点を正確にはかることができるようになりました。就学体制が整った今、アルジェリアにおける教育を社会の変化と現代の世界状況に適合させなければなりません。従って客観的な必然性と社会の正当な期待への応えとして教育改革が再び浮上してきています。我々が着手したプロセスは、可能な限り客観的で徹底した厳正な調査の結果、質と効率性の向上を図った教育システム全体の改訂を目指しています。

教育システムの改革は、我が国の経済的、社会的、文化的発展の条件とこの分野における世界の動向を考慮すべき国の優先課題です。教育、科学、技術への挑戦が重要なのは知識が発展の原動力となるからです。本日お集まりの皆様の前で敢えてこのような事実の正当性を証明する必要はないかと存じます。ここでは皆様が職業柄もっとも関心をお持ちの側面について触れることにとどめておきます。

教育改革は国の現代化及び将来を決定づけるものです。教育及び科学研究の新しい政策を導入することは、社会のニーズを正確に見通し、国の文化的、社会的、経済的発展を支える要因として、労働世界の現実と普遍的なものへの理解が伴いさえすれば、きっとアルジェリアの発展につながるはずです。国際競争がますます激化している国際化の時代において、知識や科学技術革新は国の豊かさの切り札とも言えるでしょう。従って我々もこの発展への動向に順応しないわけにはいきません。近年の大きな変化に適応すべく、これまでも相当な努力を注ぎ込んできました。教育システムの改革が我々が着手した改革の中心的な位置を占めているのもこういった理由によるものです。

経済改革や社会改革もまた我々の最も基本的な関心事です。経済を立て直すことで弛まず持続的な経済的社会的発展を遂げることを目指しています。組織の現代化、経済活動の活性化、我が国への投資の促進、そして世界経済への統合を図るためにも改革は必要不可欠です。マクロ経済の安定を確立させた今、グローバル化に因んだ構造改革に取り組み、開かれた競争力のある市場経済への移行を完遂させようとしています。

これらの改革をより深く究めて経済的社会的発展を推進させるために、現在経済の振興プログラム及び国民の期待に応えるような雇用の奨励措置を講じています。これらの政策に伴って、社会適応や国民統合の強化の要因である市民の基本的なニー

ズや生活基準の改善を国が負担することで社会の発展を保護し促進する配慮もなされています。これは経済的社会的パートナーとの対話や協議の奨励、そしてアルジェリアの経済に強い関心を抱く動機にもなっています。

市場力学の強化が続くこれから数年の間、政府が中心になって市場経済の促進を維持しますが、徐々に産業界から身を引きながら経済システムの調整役に専念することになります。

アルジェリアは高度成長期に入りましたが、この状態は持続的なものでなければなりません。2003年には国内総生産の成長率は6.8%を記録し、2004年も同等の成長率が予想されます。これから10年間は平均7から8%の成長率を実現する見込みです。

かなり後退したものの、失業は相変わらず困難な社会状況の中で憂慮すべき課題として残り、雇用の促進が中期的展望において経済成長の増大に伴って考えられるようになりました。新しい雇用政策の課題のひとつに質の向上も考慮しなければなりません。経済の需要に見合った人材を育てる必要も出てきました。

若者や人材の養成も改革の根本的な優先課題となっています。

我が国の若い世代は度々、論理や目的さえ理解できれば、大きな変革に従う用意のあることを示してくれました。彼らを社会の歩みに同調させ、よりよい機会に巡り会えるように仕向けることを我々の任務として考えるのも当然です。

若者が歴史的文化的背景に根付きつつ、潜在能力を活かし伸ばすために必要な現代の知識を身につける政策を考えるのも大きな課題となっています。彼らが自らの人生を成し遂げるための努力は惜しまないつもりです。

また、専門家の養成や現代の市場経済の挑戦に見合った能力を育てるための取り組みもなされています。とりわけ従来のネットワーク構成により多くの管理能力を要する銀行部門の改革は、すべての人材に融資や投資の手段が行き渡るべく対策が講じられています。

税制改革については、必然的に管理体制の近代化が図られることになっています。

投資、経済成長、雇用体制の関係を確立させるために、組織化されていない経済や密輸入の防止、国民の貯金能力の保護対策が練られています。付加価値の半分に貢献し、現在再構築の最中にある国営部門よりも雇用の支えとなっている民営部門が強化される予定です。

現在国内総生産の10%の付加価値を誇り、労働人口の25%を占める農業部門は、アルジェリアの新しい農業政策に伴い、深い変革を遂げています。数年前から停滞していた国営産業も、拡大化しつつある民間企業に煽られて成果をあげており、信用性の高い国営企業の活性化を図ることで政策が講じられることになっています。

一方、地方自治体の発展への実効性のある貢献が求められています。地方分権政策の一環で地方自治体が自らの能力を伸ばす努力を支持しながら、公的援助の段階的な削減が図られています。

部門別政策、革新的な水の管理体制、都市現象の制御、新都市の発展、国内生産活動のより優れた分配を促進するための国土政策も構想されました。

当局はまた、これから5年間、経済の生産性を高めるために、道路、空港、海港、電信、厚生などのインフラを充実させる努力を重ねることになっています。

我々はアルジェリアがより競争力を増し、WTO（世界貿易機関）と、現在承認を進めているEU自由貿易地区との協定に求められている水準を満たす条件を揃える決心を固めました。

これらの改革に伴うアルジェリア社会の変動は、平和、安全、和合の精神なくして実現不可能であったことでしょう。10数年続いたテロに苦しんだアルジェリアにようやく平穏な日常が戻ってきたのです。

共和国の体制を守り、国をカオスから救った国民軍の役割はきっと歴史に残るでしょう。軍は原動力となって民主化のプロセスに大きく貢献しました。

テロとの闘いを続ける傍ら、軍は、アルジェリア社会をより確実に守り、国内外の治安の維持と平和に貢献できるように最先端技術の導入を盛り込んだ大がかりな職業軍人養成プログラムを打ち出しました。

アルジェリア社会の強い要望に応えるために、複数政党制の導入、出版の自由の奨励、人権の擁護、民主主義的管理体制を採択しました。市民社会の目覚めを反映するこの進展は、とりわけ事業、医学、教育、行政における女性の社会進出にも見出されます。この発展を確立させるために、近々議会による家族法の改定も予定されており、女性に平等の市民権を認めている憲法に加え、女性の地位がより強化されることになりました。

動乱から解放されたアルジェリアは、国家の改新に取り組み、民主主義の精神に基づいた複数政党制を導入した法律国家を確立させ、市民の権利と自由を擁護する司法を独立させることによって民主化を強化し、新しい状況を生み出すことに成功し

ました。自らと仲直りしたアルジェリア人たちは、総合的かつ持続的に、安全な、平和な雰囲気の中で政治的安定及び社会的協調性を取り戻し、維持し、強化することを目指す国民和合の政策を支持しながら、アルジェリア社会が従来の価値観であった友愛、連帯、高潔の精神に貢献できるようになりました。

この2年の間に、アルジェリアは総選挙、地方選挙、大統領選挙の政治参加を経験し、新たにタマズイク語も公用語として認められるようになりました。法律国家を確立させる意志が民主化を更に進めています。民主化の徹底と改革の推進が個人の権利と義務を尊重する市民のアルジェリア社会の発展へのより実効的な貢献を可能にすると確信しております。このような状況において政府は、表現の自由、対話、協議を政治的社会的規制の手段として、政治的社会的同意の必要不可欠な要因としてますます徹底させることにしています。

アルジェリアにおける民主化の経験と改革政策は国内外共に困難な状況の中で進められています。複雑な現実の特効薬もなければめざましい成果も期待できません。

政治及び経済改革によって新しい展望が見出され、民主主義の理想と経済的発展の要求に応えられる発展モデルの実現を可能にしてくれるでしょう。

しかし、これからは国内市場の拡大と国際労働市場へのより強い参加意志がなければ、最新技術や、貿易、文化交流、国際市場や海外投資の影響に合わせて移り変わっていく世界の歩みについていけなくなるのも事実です。

ご臨席の皆様、

アルジェリアの状況の変化について論じる機会を与えてくださったことを感謝しながら、我が国の正当な期待と国民の将来について抱いてくださっている関心に心よりお礼を申し上げます。

また、ますます威光を高めている国連大学に敬意を表したいと存じます。名誉ある任務を果たす皆様の貢献は、世界の民の平和と相互理解をこよなく愛する人々の心を打ち続けていると確信しております。

これからも国連大学がますます活動範囲を広げ、国際社会に広く貢献するよう祈っております。

信用と希望に満ちた気持ちを込めて、本日この場に暖かく迎えてくださった光栄に与り、再度お礼を申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。